

関係各位

シオノギファーマによるファーマラの吸収合併について

2月16日にシオノギファーマ株式会社（本社：大阪府摂津市、代表取締役社長：加藤 晃、以下「シオノギファーマ」）より発出されましたプレスリリース（[シオノギファーマによるファーマラの吸収合併について | シオノギファーマ株式会社](#)）の通り、Pharmira 株式会社（本社：兵庫県尼崎市 代表取締役社長 西脇 正憲、以下「ファーマラ」）は、シオノギファーマにより吸収合併されることが決定いたしました。

当社はこれまで医薬品原薬・中間体の製造技術の変革を目指して、専門技術・機能を有する企業が集結し、革新的な新技術として連続生産技術を導入することにより、医薬品開発段階における製法開発期間の短縮、商用生産における省人化、省スペース化による効率化、高品質な医薬品の高度な品質保証体制の確立を目的に設立され、2022年4月より事業を開始しました。

この度、事業開始時に想定していた環境が変化したことに対応するため、2024年4月1日（予定）でシオノギファーマを存続会社、ファーマラを消滅会社とする吸収合併を実施いたします。

皆様におかれましては、これまでファーマラの事業をご愛顧いただき、また温かいご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。また、開業から2年間と短い間ではございましたが、皆様のご厚情に心から感謝申し上げますと共に、突然の会社解散に伴いご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

なお引き続き、シオノギファーマにて各種パートナー企業と連携を強め、積極的に技術開発・新規技術の導入を行いながら、グローバルで注目の高まっている連続生産の技術開発スピードをさらに加速させることで、医薬品原薬製造の変革を目指します。また、これまでファーマラが行っていた各種CDMO*事業について、シオノギファーマに事業承継されることを併せてお伝えいたします。

今後とも承継先であるシオノギファーマにて変わらぬご支援を賜りますよう、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

*CDMO : Contract Development Manufacturing Organization

以 上